

住民意向調査等を踏まえた町の地域公共交通に関する方向性について

資料5-2

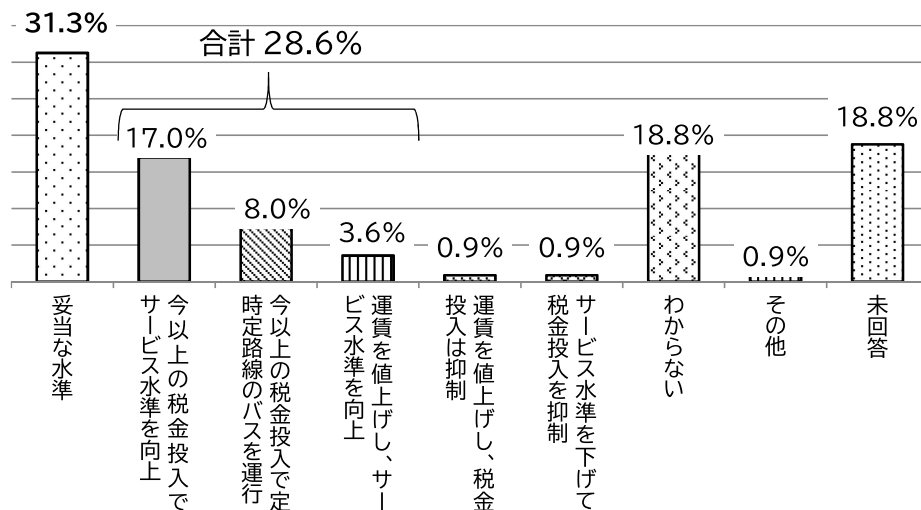
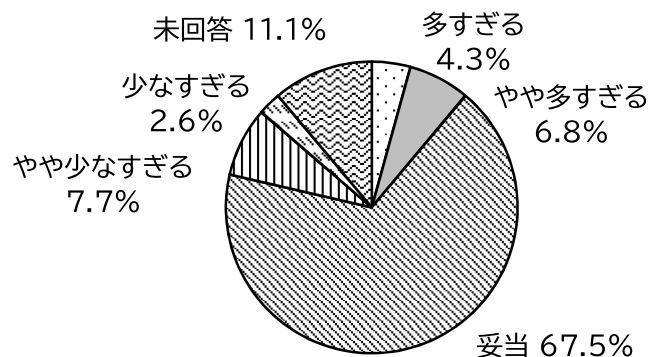
(地域公共交通網の見直しに関する検討を行うこととなった前提)

現「武豊町地域公共交通網形成計画」の終期が令和3年度であることから、「第3期計画」である次期計画を策定する必要がある
p107「利用実績・収支状況による事業性評価と、住民の事業拡大(税投入)の意向を確認し、さらなる事業拡大(新車両投入による拡充)を目指す。」と記載

(住民意向調査 H30・R01) 税投入に関するアンケート

【利用者アンケート】H30.10~11 標本数 117 票

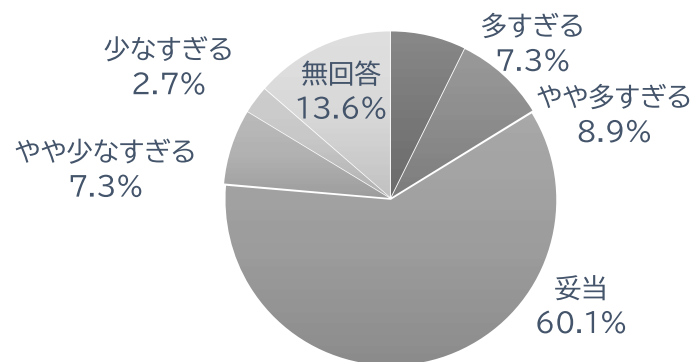
問)「今後の税投入と公共交通サービス水準のあり方」



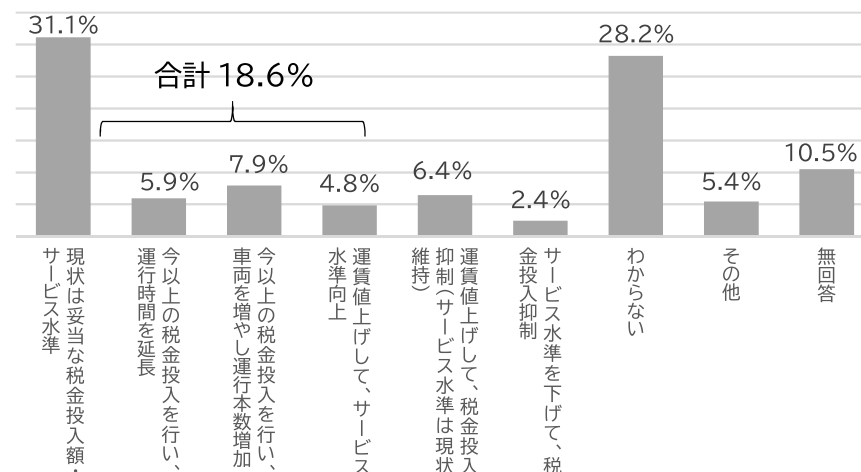
現行の税投入額が**妥当**であるという回答が **67.5%**
サービス水準の向上を求める意見は合計で **28.6%**

【住民アンケート】R01.11 標本数 1165 票 (住民年齢階層毎無作為抽出 郵送配布・郵送回収)

問)「バスや接続タクシーの事業費に関する負担額」



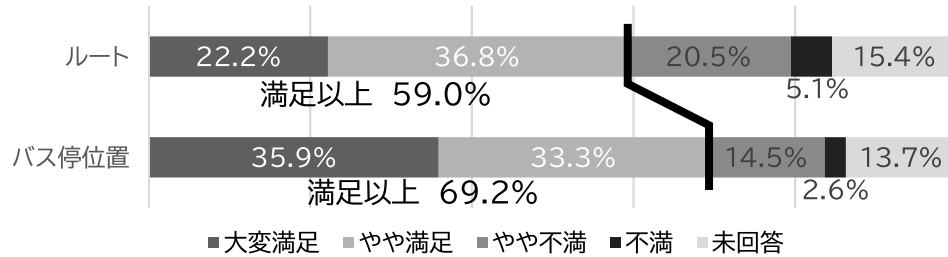
問)「今後の税負担と公共交通サービス水準のあり方」



現行の税投入額が**妥当**という回答が **60.1%**
サービス水準の向上を求める意見は合計で **18.6%**

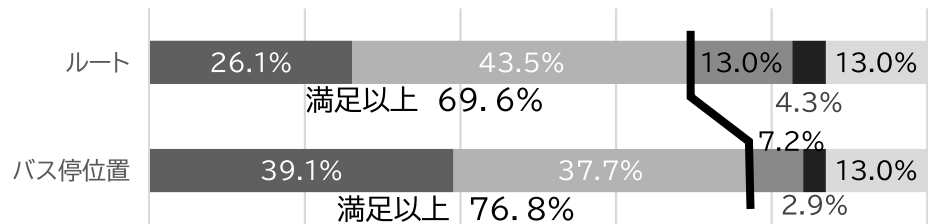
コミュニティバス・接続タクシーのルート・停留所の設定に関するアンケート

【利用者アンケート】H30.10～11 標本数 117 票
問)バスの運行サービスの満足度について(抜粋)



(H30 時点満足以上割合)ルート:59.0% バス停位置:69.2%

(参考)H25 に実施した同内容のアンケート結果



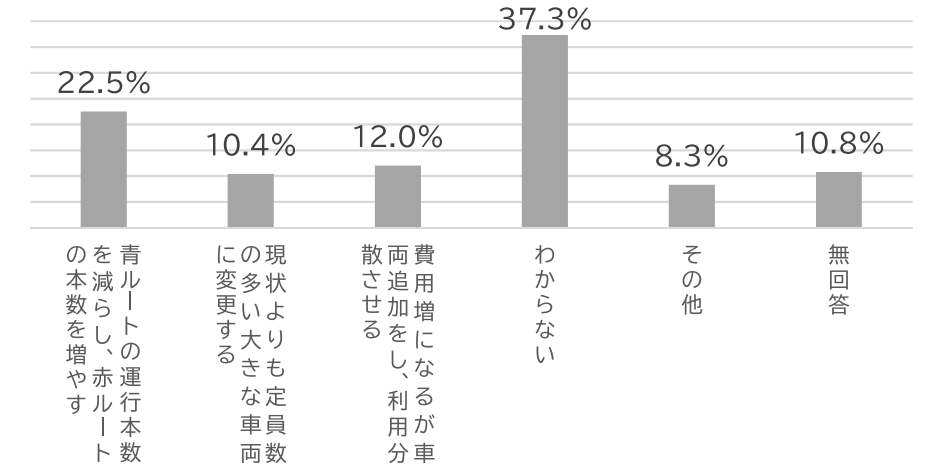
(H25 時点満足以上割合)ルート:69.6% バス停位置:76.8%

H25 とH30 の利用者アンケートを比較すると
満足度がルートは、10.9%、バス停位置は、7.6%悪化

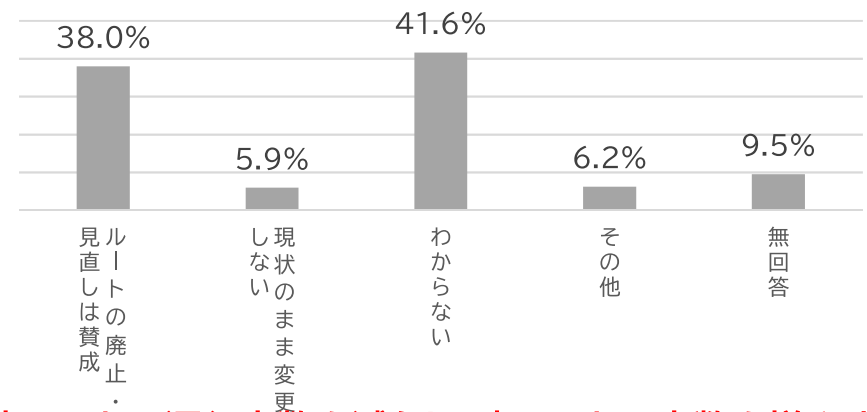
【利用者アンケート・住民アンケートの結果の整理】

- 税投入額は妥当な水準という回答が多く、サービス水準向上の意見は少数のため、事業拡大は理解が得られにくい
- バス2路線のルート設定や接続タクシーの事業見直しについては、一定の理解を得られるものと考えられる

【住民アンケート】R01.11 標本数 1165 票
(住民年齢階層毎無作為抽出 郵送配布・郵送回収)
問)「利用者増加に伴うバスルート・車両の見直し」



問)「接続タクシールートの見直し」



青ルートの本数を減らし、赤ルートの本数を増やすという回答が有効回答のうち最も多い 22.5%で、接続タクシールート・事業の見直しについては、38.0%の回答があった

ワークショップにおける意見徴収の整理

(コミュニティバスの路線見直しについて)

【住民ワークショップ】R02.7(意見抜粋)

問) 現行の不便な点は？

現行の改善点は？

(ルートについて)




- ・往復利用が困難で片道はタクシー利用
- ・目的地点に行くのに時間がかかる
- ・逆回りが無いから帰りが不便
- ・2路線では少ない
- ・一周が短くなるとよい。もしくは逆回り

(ルートについて)

- ・短い時間で目的地に行けるようにしたら
- ・逆回りも作ってほしい
- ・8の字ルート検討
- ・以前のように右回り・左回りはできるのか
- ・もう少し狭い道にも入ることはできるか

※参加者からのルートに関する意見のみを抜粋

【住民ワークショップ】R02.8(意見抜粋)

	①既存のルートの中を走るルート	②既存のルートの外を走るルート	③既存を再編し北部・中部・南部の3ルート
ルート案			
票数	21	4	17

票数が一番多いところに決定するわけではありません。頂いたご意見を受けて、事務局と生活の足を考える会で検討します。

⇒ 既存のルートの外より内側を走るルートの充実が求められる

(バスを補う交通手段について)

【住民ワークショップ】R02.8(意見抜粋)

(投票における意見整理の結果)

- ・自宅まで迎えに来てほしい
- ・わかりやすく使いやすいことが大事

【地区ワークショップ】R02.11(意見抜粋)

(タクシー事業の事業変更案について)

家までの送迎であれば余分にお金を払ってでも使いたい

(自宅への送迎に関する要望)

買い物の帰りなど荷物が多いときは停留所から自宅まで歩くのが大変

(タクシー事業者の対応について)

実際利用していたが、予約をしてもタクシーが来なかったことがあり、利用しなくなった

(接続タクシーの利用方法に関する問い合わせ)

乗合タクシー事業のときは停留所に時間が書いてあったが、いまは時間の記載がないため、どのように使えばいいのかがわからないので、わかりやすい周知が必要

今後の町の公共交通に関する方向性について(まとめ)

バス路線について

- ・税投入額が妥当というアンケート結果から、車両の3台目の投入など**事業拡大は理解が得られにくい**
- ・利用者アンケートで、ルート・バス停位置の満足度が悪化しているため、**路線延伸及び停留所を増やすなどの対策が求められる**

(コミュニティバス運行経路におけるカバー人口)…300m圏内に停留所がある地区
現行のコミュニティバスの運行経路におけるカバー人口割合:約70%
≪2015 国勢調査人口:42,473人⇒カバー人口:約29,731人≫

裏を返せば、**約30%の方がコミュニティバスによる移動が困難**である

(バス路線に関する今後の検討事項)

運行経費増加を抑制するため、バス車両2台運行を維持する必要がある。

しかしながら、北部赤ルートはすでに乗車定員近くまで利用されており、車両サイズを大きくした経緯があるため、停留所やルートの見直しは困難。

そのため、**カバー人口を増やすことを目的とした南部青ルートの路線の延伸・停留所の増設を検討する必要がある。**

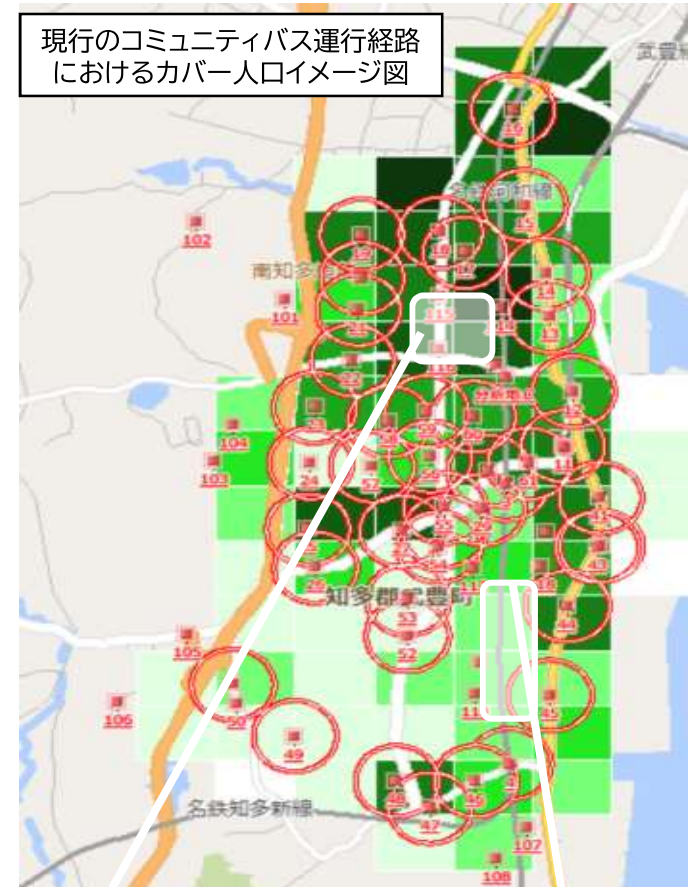
(バスを補う交通手段に関する今後の検討事項)

ワークショップの結果より、既存のバス路線の外側への延伸要望はあまりないため、バスを補う交通手段が求められる。

地区ワークショップの結果より、自宅までの送迎があるのであれば、ある程度の自己負担額はあってもいいという住民意見を確認

そのため、**接続タクシー制度の再周知方法の検討と、**

町財政及び利用者の自己負担額を抑えながら自宅までの送迎を実現する仕組みを検討する必要がある。



人口が集中しているが、バス停留所が周辺に無いエリア